

Q 国道整備に県はいくら金を出すのか？

井手たくの問い

1ヶ月以上前に、事業者である中日本高速道路(株)に神奈川県を通して資料を出してほしいということをお願いしておりますが、さがみ縦貫道路の、県内の影響の詳細という点ではゼロ回答なんです。

2月13日に、私の方で横浜国道事務所調査課に、さがみ縦貫道路整備に伴う影響等を含めて資料をほしいと言いましたら、最初ないと言ったんです。それでもおかしいと思ってずっと粘り続けると、2月23日、10日後にあると言いだしたんです。それを見せてくれと言いましたら、情報公開請求(手続きと審査が必要になる)をしてもらいたいということなんです。

縦貫道路はもうすぐ整備が終わる状況にあるわけで、情報公開請求しなくてはいけないというその理由が分からない。当然情報提供(審査必要なし)すべきだというふうに私は思っております。

さて、ここで確認をさせてもらいたいのは、さがみ縦貫道路のような国直轄事業に対して県としてはどのような負担をしているのか、お伺いしたいと思います。

私は個人的に後日
公開請求し入手した。
こんな大事なものは
すでに県は持ってお
くべきだ！

1,650億円の県負担を
考えれば当然！



県土整備部参事(国土調整担当)の答え

さがみ縦貫道路の整備に係ります県負担の総額は、約1,650億円でございます。

さがみ縦貫道路の事業費について

全体事業費	約7,900億円
うち有料道路事業費 (旧公団の料金徴収を財源)	約2,950億円
うち国直轄事業費	約4,950億円
国直轄事業費のうち県負担分	約1,650億円

井手たくの問い

県内のさがみ縦貫道路供用開始に伴う物流の動向の変化、また乗用車の動向の変化等を踏まえて、周辺産業に対して少なからず影響はあるというふうに思っております。この手の情報というのは、国の中にとどめておくべきたぐいのものではないと私は思っております。全国センサスに基づく走行台キロ、その将来推計、さらにブロック分け、将来交通のOD表、便益表、転換率、それに伴うさがみ縦貫道路の車種別の使用交通量など、計画から着工に至る一連の作業に伴う資料を国は県に対して提出すべきだというふうに私は考えるんですけどもいかがでしょうか。

県土整備部参事(国土調整担当)の答え

委員のお話にございましたとおり、さがみ縦貫道路の交通量推計に用いる、バックデータにつきましては、県として持っていないものもあります。ということで、必ずしも十分ではない面もあったかなと考えております。

A
answer

さがみ縦貫道路 7,900 億円のうち
1,650 億円は県の金。